

今日のトピック 弱い米雇用統計でも米株は高値更新 新型コロナ感染拡大の影響を上回る追加経済対策への期待

ポイント1 米雇用者数は25万人増加 米失業率は6.7%に低下

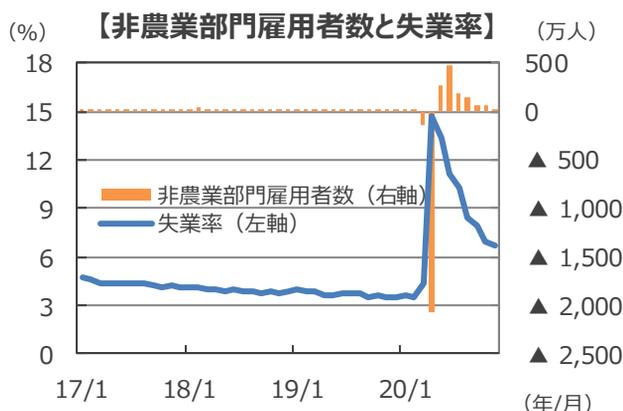
- 米労働省が12月4日に発表した11月の雇用統計によれば、非農業部門雇用者数は前月比24.5万人増と、7カ月連続で増加したものの、事前の市場予想（46.2万人増）を大幅に下回りました。また、失業率も6.7%と7カ月連続の改善となりましたが、前月の6.9%から0.2ポイントの低下に留まり、概ね市場予想（6.8%）並みとなりました。
- 米国では10月以降、新型コロナの感染が再拡大しており、小売りや娯楽などを中心に、雇用回復の足取りが鈍くなっています。

ポイント2 労働市場回復の急減速を受け、追加経済対策を急ぐ

- 4日、大統領選で当選を確実にしたバイデン前副大統領は、「11月の雇用統計は厳しく、米経済はいまなお最悪の経済危機にある」、「米景気は失速しつつあり、議会は救済策づくりで即座に行動する必要がある」と演説し、議会に対し追加の経済対策を早期に決定するよう求めました。超党派グループは、雇用対策を中心に9千億ドル規模の追加経済対策を提案しており、バイデン氏も支持を表明しています。

今後の展開 米株式市場は史上最高値を更新、経済対策とワクチンに期待

- 11月雇用統計は新型コロナ感染再拡大の影響を受け厳しいものとなりましたが、追加経済対策の早期成立に対する期待が高まったことから、同日、ダウ工業株30種平均が前日比249ドル高の3万218ドルとなるなど、米国株式主要3指数は過去最高値を更新しました。また、米10年物国債利回りは0.05%上昇（価格は下落）し、為替市場でも新興国通貨や資源国通貨が上昇するなどリスク選好の動きが強まりました。
- 米国では足元、新型コロナ新規感染者数がピークを更新していますが、追加経済対策の早期成立や新型コロナワクチンの早期接種開始などにより景気回復の足取りを確かに行うことが期待されます。



(注) データは2017年1月～2020年11月。
(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成



(注) データは2019年1月1日～2020年12月4日。
(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ここも
チェック! 2020年11月27日 2021年はゴルディオックス
2020年11月25日 3万ドル乗せとなったダウ工業株30種平均

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。